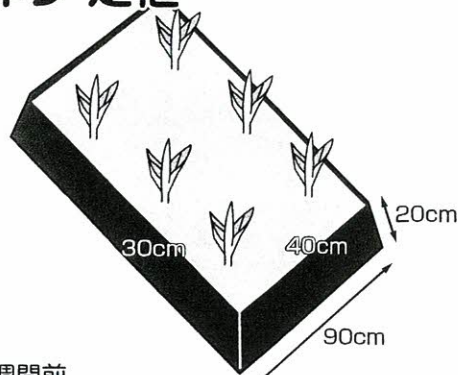


トウモロコシの上手な作り方

1.土作り・定植



- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
たい肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。
(1㎡にたい肥3リットル・肥料100g)
授粉を助けるため、2列を平行に植えることをおすすめします。

2.わき芽・追肥

ポイント わき芽を残して受粉を助ける

- ③草丈が30~40cmに伸びてくると、株元から2本わき芽が伸びてきます。わき芽から実はありませんが、倒伏防止と受粉の助けとなるので欠き取らずにそのまま育てます。
- ④草丈が50cm程度になったら、株の両側に化成肥料を施します。そのとき畝間の土を軽く耕して(中耕)、土寄せをします。



1.土作り で必要なもの

- 苦土石灰
- たい肥
- 肥料 『油カス』『配合肥料』等

2.わき芽・追肥 で必要なもの

- 肥料 『化成肥料888』

収穫期を逃さないために……

- ラベル 『園芸用ラベル』

紹介した商品はほんの一例です。
店頭在庫のない場合はお取り寄せ致します。
係員までお申し付けください。

3.受粉

ポイント 交雑とわき芽両方の雄穂で実なりを良くする



- ⑤雌穂の絹糸に雄穂の花粉が飛散し、受粉します。トウモロコシは他株の花粉の飛散によって互いに受粉し合って結実するので、このとき効率よく受粉するように2列を平行に植えて受粉しやすい環境で育てましょう。

4.収穫

ポイント 絹糸が褐色になったら早めに収穫

- ⑥絹糸が出て25日ごろが収穫の目安です。絹糸が褐色になったら、実際に手で触って実が入っているかを確かめてから早めに収穫します。もぎたてを茹でるだけでも格別の味を楽しめます。

